

□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□

岡山大学法学部だより

□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□

※ 本メールは法学部の教職員、在学生、卒業生および岡山大学法学部ホームページから登録された方にお送りしています。

第 122 号 (2016 年 4 月 1 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

春です。新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

この春、卒業されたみなさんも、それぞれの場所で新しいスタートをきられたことでしょう。

ご活躍をお祈りしています。

○ 新入生を迎えて

新入生を迎えて

今年も 4 月になり、新入生を迎えることになりました。

大学の教職員は、毎年一つずつ年齢を重ねて行きますが、大半の新入生は 20 歳前の若い人たちです。大学の教員はおそらく一番若い教員でも、新入生よりは 10 歳以上歳を取っていますし、私などは、新入生のみなさんの親の世代よりも上になってきています。このような状況の中で、われわれのような古いものたちが新しい人たちに伝えられることは何かということを考えざるをえません。いま、世界は相当にガタガタになっているようにも見えますが、それでもこの世界を壊してしまうわけにはいきません。そして世界は、大なり小なり、いつでも壊れかけているものです。いつの時代も、人は古いものから壊れかけた世界を受け継ぎ、これを修復しながら世界を存続させてきたのです。いまのガタガタの世界の成り立ちを理解し、この世界を修復しながら新しい世界を作ってゆくことでしか、この世界は存続できません。この先どのような世界が来るかは古いものたちの考えの及ぶところではありません。新しい世界を作ってゆくのは、新しく世界へ入ってゆく新しい人たちです。古いものたちの活動がいかに新しく見えようとも、新しい人たちにとっては、それはすでに老朽化し壊れかけているものです。新しい人たちが、古いものたちに無批判に従えば、壊れかけた世界は、簡単に崩壊してしまうでしょう。今年新たに大学に入学されたひとたちも、世界の成り立ちを理解し、新しい世界を作ってゆかなければなりません。われわれができることは、われわれが先人から受け継ぎ、修復を加えてきた世界がどのようなものであるかを、われわれの失敗も成功も含めて新しい人たちに伝えることです。

新しい人たちが到来することで世界は続いてゆきます。

これから新しい世界を作ってゆく新入生の岡山大学への入学を心から祝福したいと思います。

法学部長 波多野 敏